

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

【演習の目的】

我が国防衛のための自衛隊の統合運用について演練・検証し、自衛隊の統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

自衛隊統合演習は平成18年度統合運用体制移行後、18回目となります。実動演習と指揮所演習を毎年交互に行なっており、本年度は実動演習を実施します(実動演習は10回目)。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

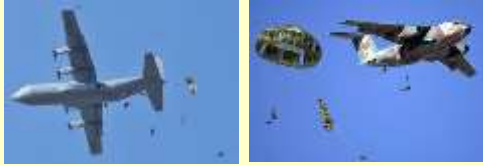
令和7年10月20日(月)から10月31日(金)までの間(前後に準備期間及び撤収期間を設定)で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができるものです。

令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)について

空挺作戦



水陸両用作戦



統合防空ミサイル防衛訓練



統合対艦攻撃訓練



※九州及び沖縄におけるシミュレーション訓練を含む。

その他関連する訓練

- 統合後方運用
- サイバー攻撃等対処
- 協同基地等警備
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和7年度自衛隊統合演習(実動演習)の 高知県における訓練について

本演習において高知県内で実施する訓練は、

- ① 統合後方運用(荷役訓練)
須崎港
- ② 統合電磁波作戦訓練
高知駐屯地

を予定しています。

訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

高知県内で実施を検討している訓練内容

①統合後方運用(荷役訓練)

須崎港に係留している海上自衛隊の訓練支援艦に対し、高速無人標的機及び燃料を搭載する訓練を実施します。高速無人標的機は標的機整備隊(江田島市)から海上自衛隊車両により陸上輸送、燃料は呉基地(呉市)から油槽船(YOT)により海上輸送します。

【期 間】 令和7年10月20日(月)～10月31日(金)(前後に準備期間及び撤収期間を設定)

※ 上記日程のうち、2日間を予定。

【参加部隊】 海上自衛隊:標的機整備隊、訓練支援艦「てんりゅう」、油槽船02号

※その他、陸上自衛隊(クレーン車×1両)、海上自衛隊(輸送用車両×1両)の車両を使用予定



訓練イメージ



高知県内で実施を検討している訓練内容

②統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、四国沖で実施される共同統合対艦攻撃訓練に連携して行います。
本訓練のため、陸上自衛隊の電子戦部隊が陸上自衛隊高知駐屯地に展開し、電波状況の確認等を実施します（早朝・夜間や土日は除く。）。

なお、本訓練では実際に電波を発射しますが、住民のみなさまの生活、民航機の運航等に影響しない周波数を使用します。

【期 間】 令和7年10月24日（金）～10月31日（金）

【参加部隊】 陸上自衛隊陸上総隊：約20名（車両（NEWSを含む。）×4両）（機動展開）

訓練予定場所（高知県）

陸上自衛隊
高知駐屯地

四国沖

展開する主要装備品



陸上自衛隊 NEWS※

※ NEWS:Network Electric warfare System（ネットワーク電子戦システム）
電波の収集等を実施